

第6回臨時会

10月28日に開催され、3件の報告のほか、5件の議案が提案され、いずれも原案のとおり可決しました。

▼主な議案

○大船渡市防災コミュニティセンター設置管理に関する条例について

新たに清水地域防災コミュニティセンターを設置
○財産の取得について
災害公営住宅「下館下アパート」

○大船渡市公営住宅の指定管理者の指定について

- ・施設の名称
：下館下アパート
- ・指定管理者
：株式会社寿広

▼請負契約について

○中赤崎地区(その6-1)防災集団移転住宅団地整備工事の請負変更契約
・変更後の契約金額
：3億8597万円

○学校施設耐震改修(その2)工事の請負変更契約
・変更後の契約金額
：2億4375万円

○永浜地区(その2)防災集団移転住宅団地整備工事及び永浜地区道路新設工事の請負変更契約
・変更後の契約金額
：9億2260万円

○(仮称)共同利用コンテナ用上屋新築工事の請負契約
・請負契約者
：株式会社佐賀組

▼委託契約について
○大船渡地区津波復興拠点整備事業津波防災拠点施設等工事他業務に係る委託契約
・委託契約者：独立行政法人都市再生機構岩手震災復興支援本部
・委託契約金額
：19億8882万円

全 員 協 議 会

当局からの次のような説明に対し、協議を行いました。

9月26日開催

◎内陸への道路ネットワークの構築について

- ・「物流等の円滑化と活性化を図る道路ネットワーク検討会」における検討結果について
- ・対果要望(案)について

気仙地域から東北横断自動車道釜石秋田線宮守インターチェンジに至る国道107号について、白石峠、荷沢峠など峠部の新たなトンネルの建設及び屈曲区間のショートカットなど、幹線横断道路に相応しい改良整備の事業化に向け、早期に検討に着手すること。

10月28日開催

◎土地利用方針図の見直し等について
「盛地区・大船渡地区の一部、赤崎地区の一部及び猪川地区の一部」の土地利用方針図の見直しを行う。

11月25日開催

◎大船渡駅周辺地区土地区画整理事業の進捗状況について

・事業計画(第4回変更)案に係る資金計画の概要など

12月9日開催

◎大船渡市立小・中学校適正規模・適正配置基本計画(案)について

- ・大船渡市立小・中学校適正規模・適正配置基本計画(案)の策定について
- ・平成29年度から平成38年度までの向こう10年間の展望し策定する。

12月26日開催

◎復興交付金事業計画等について

- ・前回までの配分済額
806億5964万円
- ・今回配分額(国費)
17事業に77億3133万円
- ・合計
883億9097万円

◎第6次大船渡市農業振興基本計画(案)について

- ・平成29年度を初年度とし、平成32年度を目標年次とする4か年計画
- ・地域特性を活かした農林業の振興を
目指し、農地の保全と活用、農業経営の安定支援、担い手の育成・確保などに
取り組む。

常任委員会の活動

10月に行政視察を行いました

総務常任委員会

市税滞納対策と地域自治システム
中心市街地拠点整備を視察

静岡県浜松市と愛知県豊田市、安城市を視察しました。

浜松市では「市税滞納削減アクションプラン」を策定し、事務の改善や関係機関との連携等により、累積滞納額の削減や現年分収入率の向上に取り組んでいました。豊田市が進める地域自治システムの「わくわく事業」では、地域を良くするための活動に対して、1中学校区あたり500万円の上限で補助金を出しています。地域課題に対して住民が自ら行動し、山村部と都市部それぞれの魅力を併せ持つま



ちづくりを進めていました。

安城市では、病院の移転跡地に中心市街地拠点施設「アンフォーレ」を整備して図書館や商業施設などの相乗効果により年間100万人の利用を目指し、中心市街地の賑わい創出に向け取り組んでいました。

教育福祉常任委員会

小中一貫教育と
子育て応援施策を視察

兵庫県赤穂市と、姫路市、相生市を視察しました。

赤穂市民病院では、病院改革プランを策定し、本館の改修、新棟の増築、経営改善やネットワーク化を通して医療レベルの向上を目指し取り組んでいました。姫路市教育委員会では、「学力」「人間関係力」を培うことを目標に、義務教育課程9年間の小中一貫教育を進め、教職員の意識改革と指導力向上、中一ギャップの軽減等、「目指す子ども像」の育成に向け取り組んでいました。相生市では、穏や



かな気候風土に加え姫路市、神戸市の近郊という立地を生かし、子育て応援都市宣言を掲げて、子育て応援施策「11の鍵」の実施により子育て世代をターゲットにした定住促進を図るまちづくりを進めていました。

産業建設常任委員会

観光客誘致の推進と漁業後継者育成
地域ブランドの活用を視察

愛知県犬山市、和歌山県新宮市、三重県志摩市を視察しました。

犬山市では、犬山市の周辺環境の整備に名古屋鉄道とタイアップし犬山キャンペーンを展開し、駅の宣伝ポスターやテレビCMなどの宣伝活動により年々登閣者数を伸ばしていました。太平洋に面する自然豊かな新宮市では、新宮港を活用した企業誘致や、背後地に世界遺産登録されている紀伊山地の参詣道があることから、クルーズ船誘致に積極的取り組み観光客の増加を図って



ました。志摩市では、漁業就業者確保育成協議会を設立し、担い手対策に一丸となっており取り組んでいます。また、真珠などの特殊産業や地域の豊かな水産資源をブランド化し、地域の魅力の発信に努め地域そのもののブランド化を目指していました。